

ウクライナ避難民支援

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によるとウクライナからの避難民は 280 万人を越えたとされています。その多くは徒歩や車などで西隣のポーランドに逃れています。ウクライナやポーランドの NGO は「医薬品不足が喫緊の課題になっている。戦争の影響で供給が滞り、十分な量を確保できていない。心の傷を負った人も多く、精神的なサポートができる人材のニーズも高まっている」としています。ウクライナから非難した女性は「子どもが砲撃の音を忘れられない。どうしたらいいか分からない」と涙ながらに語っています。一方、「70 歳になる母が残っている。戻るのは怖いけど帰らなくてははいけない」という方もいます。

戦争は子どもたちの将来を壊すだけでなく、トラウマ（心的外傷）を抱える子どもたちを生み出します。また、家族をバラバラにします。いつ故郷へ戻れる日が来るのか分からない中、隣国に支えられながら母国に平和が戻ることを待っているウクライナの方々に思いを寄せ、私たちひがし労は「ウクライナ難民支援カンパ」を取り組んでいます。

ロシアのウクライナ侵略糾弾！即時撤退を！

#0311 新宿大アクション

「戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会」は 3 月 11 日に「ロシアのウクライナ侵略糾弾！即時撤退を！ #0311 新宿大アクション」を開催し、ひがし労から 7 名が参加しました。

新宿の街をデモで歩き、「戦争反対」「核共有発言を許さない！」などを訴えました。

